

1 常夜灯(東)

この場所が深谷宿の東のはずれにあたります。明治初頭に富士講の人たちによって建てられた、高さ約4mもある中山道でも最大級のもので。深谷市指定文化財。

2 遊歩道

かつて深谷駅から日本煉瓦製造工場(深谷市上敷免)まで敷かれていたレンガ輸送用の専用線跡が遊歩道として整備され、市民の散歩道として親しまれています。

3 大谷邸

昭和初頭に建てられモダンな木造2階洋館付き和洋折衷住宅。国の登録有形文化財。

4 お米のだいまさ

店舗を改装し町屋建築の保存や土蔵の移設、保存を積極的にしているお店です。

5 東源寺、6 俳人菊岡坊素英(きとぼうそえい) 供養塚

文明18年(1486)に開山開基されたお寺で、門前に江戸時代の加賀国の俳人菊岡坊祖英の塚があります。明和5年(1768)建立。深谷市指定文化財。

7 長福寺

天文2年(1534)に開かれた浄土宗のお寺です。

8 深谷神の教会

昭和32年(1957)創立。永井明は深谷教会の信徒伝道者で、児童文学者・詩人。

9 深谷商業高等学校記念館(二層楼)

大正11年(1922)築の和洋折衷の二階建て木造校舎。平成25年(2013)に修復され淡い萌黄色の外観が大正口マンの香りを今に伝えています。国の登録有形文化財。

10 稲荷神社

康応年中(1389~90)に上杉憲英が深谷城の守護として「一仏三社」を祀ったうちの神社で「末広稲荷大明神」と呼ばれた時期もあります。

11 瑠璃光寺

承和2年(835)創建と市内で最も古いとされる天台宗の寺。仁王門(江戸中期)、薬師堂(室町期)、定門(天正17年)などは深谷市指定文化財。

12 富士浅間神社(智形神社)

深谷上杉氏により深谷城の鎮守として祀られた社で智形(ちかた)神社ともいいます。

13 深谷城外堀遺構

深谷城の外堀の遺構が富士浅間神社の周囲に残存しています。深谷市指定文化財。

14 深谷城址公園

往時の深谷城の一角に深谷市の文化教養の中心地区として整備された公園です。

15 帰去来辞詩句碑

中国の詩人陶淵明の詩句を渋沢栄一が揮毫したもの。明治45年(1912)建立。

16 北川千代文学碑

深谷生まれの児童文学作家(1894~1965)。父は日本煉瓦製造工場の初代工場長。

17 唐沢川の桜堤

唐沢川は利根川水系の一級河川で、桜堤と川岸を彩る菜の花の群生は圧巻です。

18 行人橋の石碑

昔、行人(ぎょうにん)という僧が石橋を架けたといわれ、碑は明治31年(1898)建立。

19 日英橋

明治35年(1902)の日英同盟を記念して架けられた橋でこの名が残っています。

20 三高院

深谷城主松平康直(徳川家康の甥)が創建したといわれ、康直の墓が残っています。

21 明治天皇御小休憩

明治11年(1878)、明治天皇が北陸・東海をご巡幸した折りにお休みになった場所。

22 塚本商店

伝統的和風の町屋建築の両脇にレンガの「うだつ」をあしらった珍しい建築物。

23 ときわ園

明治時代初期に建てられた、土蔵の周囲にレンガを積み上げて造られた茶舗です。

24 深谷城跡

深谷城跡は埼玉県指定旧跡。深谷小学校の校庭に深谷城跡の石碑が建っています。

25 管領稲荷神社

かつて深谷城に物見の丘があり、明治以降にその上に築山が築かれ、頂上に「城の稲荷」が祀られていましたが、戦後、現在地に移されました。

26 永明稲荷神社

深谷城主上杉憲英が、深谷城の守護として「一仏三社」を祀ったうちの神社です。

27 高台院と高泰姫の墓

高台院は、深谷上杉氏七代の上杉憲賢の室高泰姫が、憲賢の菩提を弔うために高泰院の泰を台に改めて中興開基したお寺です。高泰姫の墓は深谷市指定文化財。

28 安部彦平翁銅像

安部彦平は、深谷商業高校の創立、上武大橋の架橋、荒川放水路の開削など多くの業績を残した初代深谷市長。明治14年(1881)深谷町生まれ。

29 西運寺、30 杉田因幡の墓

深谷上杉氏八代上杉憲盛の要請で、天正元年(1573)現在地に移りました。杉田因幡は戦国時代の武将で、深谷城主上杉氏憲の重臣。墓は深谷市指定文化財。

31 釜屋金物店

遠くから見ると漆喰の目地が引き立つ瓦の大屋根が見事です。明治15年(1882)築。

32 藤橋藤三郎商店の赤レンガ煙突

江戸時代からの老舗酒屋で、赤レンガ煙突は埼玉県の「景観重要建造物」指定。

33 近彦旅館跡

江戸時代を代表する俳諧師小林一茶が定宿としていた旅籠があった場所です。

34 ふっかちゃん横丁

9軒のお店が軒を連ねている、別名「深谷宿屋台村」。平成25年オープン。

35 春山邸

風情のある日本家屋で、庭には松尾芭蕉と大田蜀山人の碑があります。

36 深谷駅

深谷産の赤レンガを使った東京駅駅舎を模して建てられた橋上駅。日本の駅百選。

37 渋沢栄一銅像

深谷駅を降りると、青淵(せいえん)広場で郷土の偉人渋沢栄一がお出迎えています。

38 渋沢栄一からくり時計

定刻になると渋沢栄一が現れ、時刻を知らせるしかけになっています。

39 下台池公園

上唐沢川の右岸にある池とその周囲が公園化され、市民のくつろぎの場所です。

40 瀧宮神社

深谷上杉氏が深谷城を築いた際に、城の西南に位置する瀧宮神社を坤門(裏鬼門)の守護神として崇敬するとともに、歴代の城主も信仰し続けていた神社です。

41 八坂神社

深谷上杉氏によって深谷城内に勧請された「天王社」が、昭和27年(1952)現在地に移されました。

42 春山長吉翁遺徳碑

春山長吉は明治時代に深谷までの鉄道開通に貢献した人。碑は渋沢栄一の揮毫。

43 上唐沢川の桜並木

春には瀧宮神社に通じる朱色の太鼓橋から望む桜並木に多くの観光客が訪れます。

44 小林商店

赤レンガ倉庫(大正元年築)と木造3階建の洋館(昭和2年築)がレトロな雰囲気。

45 深谷れんがホール

昭和8年(1933)に深谷信用組合倉庫の解体レンガを再利用して建てられた倉庫で、1階はレンタルスペースとして貸し出されています。

46 正覚寺、47 生沢クノの墓

生沢クノは元治元年(1864)蘭医生沢良安の三女として深谷宿で生まれ、荻野吟子に続く日本女医第2号として、生涯、埼玉県近隣各地で草の根医療に尽力した人です。

48 深谷ベース

展示会、会議、イベント、食事会など多目的に利用できるおしゃれな公共施設です。

49 飯島邸(本陣跡)

深谷宿の本陣職を宝暦2年(1752)から明治3年(1870)まで務めた家で、幕末には皇女和宮様が中山道を下り江戸を目指したときにお休みされた本陣として有名です。

50 福島邸(赤レンガ倉庫)

赤レンガ倉庫は、大正10年頃に建造された、こんにやく原料倉庫兼製造工場跡です。

51 セツ梅酒造跡、52 深谷シネマ

江戸時代から300年以上続いた田中藤左衛門商店の酒蔵跡で、「セツ梅」は酒の銘柄。敷地内に映画館「深谷シネマ」や古本屋「円の庭」などがあるカルチャースポット。

53 大円寺

「水かけ地蔵」として知られるお寺で、地蔵通りの赤レンガの塀は明治33年のもの。

54 坂本邸

市内でも最大級の町屋建築。一階、二階共に窓に格子を据えている粋な佇まいです。

55 滝澤酒造の赤レンガ煙突

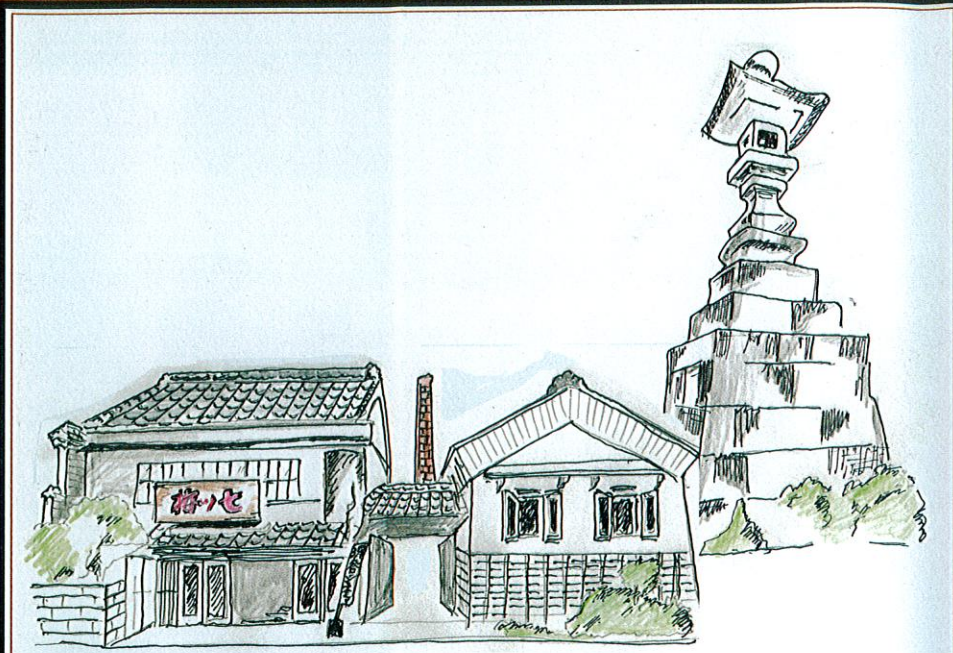
滝澤酒造は江戸時代からの蔵元で、赤レンガの煙突は、昭和6年(1931)の深谷地震(西埼玉地震)にも耐え、戦時中の空襲で機銃掃射を受けた跡が残っています。

56 呑龍院(どんりゅういん)

真っ赤な鐘楼が目目を引きまします。境内には子育て地蔵があります。

57 常夜灯(西)

この場所が深谷宿の西のはずれにあたります。天保11年(1840)に富士講の人たちによって建てられた、高さ約4mもある中山道でも最大級のもの。深谷市指定文化財。



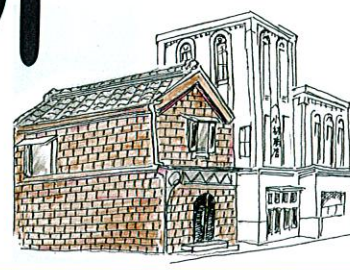
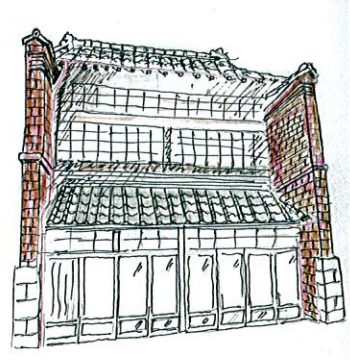
深谷宿

中山道

マツプ観光名所



深谷市の中心市街地を貫く中山道周辺には、戦国時代からの史跡や赤レンガづくりの歴史的な建物が今でも数多く残っています。宿場町の面影を今に伝えている風情ある店構えを眺めながらぶらっと歩いてみましょうか。



(社)深谷市観光協会
深谷商工会議所
深谷商店街連合会



中山道の宿場町として発展してきた深谷

ならではの個性豊かな歴史を

訪ねてみましょう!

深谷宿観光名所マップ

●ビューポイント

- ① 街なかには生き続ける歴史的な文化財
- ② レンガ造りの建物と煙突
- ③ レトロな町屋建築

深谷上杉氏

深谷上杉氏は、室町時代に関東地方に割拠した上杉氏のひとつで、室町幕府の役職である関東管領(かんとうかんれい)山内上杉憲朝が、14世紀後半頃に、六男上杉憲英をこの地に派遣したことに始まり、およそ230年間深谷を拠点とした氏族です。当初は、上杉憲英、憲光、憲長、憲信の四代は、国済寺に庁鼻和城(こばなわじょう)を構えましたが、五代房憲が深谷城を築き、憲清、憲賢、憲盛、氏憲が深谷城を居城としました。

深谷城

深谷城は、戦国時代に深谷上杉氏によってつくられた大規模な平城(ひらじろ)で、自然の低湿地を利用した難攻不落の城でした。江戸時代の初めに廃城となるまで200年以上にわたり深谷の中心であり続けました。JR深谷駅より北へ約920m、現在の深谷小学校および深谷城址公園付近がその城址(しろあと)です。

中山道と深谷宿

中山道は江戸時代の五街道(東海道・中山道・甲州道中・日光道中・奥州道中)のひとつで、日本橋を起点とし本州中部の内陸を経由し、京都へと至る当時の幹線道路でした。深谷宿は、中山道六十九次のうち板橋宿から数えて9番目の宿場として設けられ、宿内は東西にある2基の常夜灯(現在の稲荷町と田所町)にはさまれた約1.7kmの区間でした。天保14年(1843)の絵図によると、本陣1軒、脇本陣4軒、旅籠80軒、人口1,928人と中山道随一の宿場でした。

The map displays the Fukaya宿 area with various landmarks and points of interest numbered 1 through 57. Key locations include:

- 東大沼**: 26 永明稲荷神社, 27 高台院 高泰姫の墓
- 田谷**: 24 深谷城跡, 25 管領稲荷神社, 28 安部彦平翁銅像, 29 西運寺
- 天神町**: 11 瑠璃光寺, 12 富士浅間神社(智形神社), 13 深谷城外堀遺構, 14 深谷城址公園, 15 帰去来辞詩句碑, 16 北川千代文学碑
- 原郷**: 9 深谷商業高等学校記念館(二層楼), 10 稲荷神社
- 田所町**: 52 深谷シネマ, 51 七ツ梅酒造跡, 57 常夜灯(西)
- 本住町**: 33 近彦旅館跡, 34 ふっかちゃん横丁
- 西島町**: 41 八坂神社, 40 瀧宮神社, 42 春山長吉翁遺徳碑
- 上唐沢川**: 37 渋沢栄一銅像, 38 渋沢栄一からくり時計
- 深谷駅**: 36 深谷駅, 39 下台池公園

深谷西小学校

深谷西小学校

52 深谷シネマ

深谷シネマ

57 常夜灯(西)

常夜灯(西)

56 呑龍院

呑龍院

55 滝澤酒造

滝澤酒造

54 坂本邸

坂本邸

53 大円寺

大円寺

渋沢栄一とレンガの街

現在の深谷市血洗島で生まれ、近代日本資本主義の父といわれる渋沢栄一(1840~1931)は、明治20年(1887)、深谷に日本で最初の機械式レンガ製造工場日本煉瓦製造株式会社(写真)を作りました。街なかを歩いてみると、通り沿いに赤いレンガの建物を多く見かけるのはそのためです。

歴史のみち景観モデル地区

深谷宿地区(稲荷町~田所町の中山道沿線)は、2011年、埼玉県庁の歴史的な景観資源を活用したまちづくりを目指すモデル地区として選定されました。

深谷宿のまつり

深谷まつり
開催期間 7月
最終日 金・土・日曜日
開催場所 JR深谷駅北口周辺

深谷七夕まつり
開催期間 7月上旬 金・土・日曜日
開催場所 旧中山道(中心市街地)

ふかや桜まつり
開催期間 3月下旬~4月上旬
開催場所 JR深谷駅南口周辺

●問い合わせ
一般社団法人深谷市観光協会
TEL.048-575-0015

P 無料駐車場
♿ 利用可能なトイレ